

「電子契約システム（工事・業務）のガバメントクラウド移行に係る設計開発及び結合テスト等業務」調達仕様書（案）等  
意見招請結果に対する回答・対応について

意見等の総件数 2件

項番	種類 (注)	該当資料名	頁数	章番号等	仕様書等の記載内容	意見又は修正案の内容	意見又は修正案の提出理由	回答・対応
1	要望	6. 作業の実施に当たっての遵守事項	6. 政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準	2. (3) (4) (5)の赤字部分	(3) 脆弱性が生じないように留意して設計・開発し、稼働前及び定期的な検査を通じた確認により修正を適用できるようにすること。 (4) 不正行為の検知、発生原因の特定に用いるために、システムの利用記録、例外的事象の発生に関するログを蓄積し、不正の検知、原因特定に有効な管理機能（ログの検索機能、ログの蓄積不能時の対処機能等）を備えること。 (5) ログの改ざんや削除を防止するため、ログに対するアクセス制御機能を備えるとともに、ログのアーカイブデータの保護（消失及び破壊や改ざん等の脅威の軽減）のための措置を含む設計とすること。	Microsoftcopilot365の監視機能が2025年から運用中のMS365に追加VerUPされます。基本は仕様書にない規定でも生成AIによる監視機能・自動修復など運用後も継続でMicrosoftcopilot管理とバランスをシステム・ステークホルダー上でも必要かつ追加記述に設計管理の簡素化が求められる。 (3) (4) (5)の赤字部分	Microsoftcopilot・PRO版の技術管理で再精査の意見及び修正を必須とする。標準仕様の基準で許容範囲の内容にて、再検証が必要です。Microsoftcopilot研修の結果及び実験結果から。	本調達における運用監視等につきましては、最適と思われる方法を事業者が選定するものとしますので、生成AIの監視機能等を利用することを妨げるものではありません。よって、調達仕様書の記載は現行のままといたします。
2	その他	附属資料の課題とインシデント対応資料	附属全般	—	パワーポイントの図面が完成度からの比較です。	今後の課題として、情報セキュリティはSHA1・RSA1024とインシデント電源回復時間など、生成AI監視機能の短縮化も別途で意見招集を推奨します。 →	次期更新での国際標準・行政通信に関する規格対応・ISO/ECなど自営集の公募が効果が見込める。	今後の検討材料とさせていただきます。